

## <食育・地産地消の推進について>

### 【調査の目的】

県では、食の重要性や農林水産業の果たす役割と意義などについて理解を深める「食育」(※1)や、県内の豊かな農林水産物を県民の皆さんに食べていただく「地産地消」(※2)を県民運動として展開しています。食育や地産地消に関する皆さんの御意見をお聞かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思ひます。

(農林水産部 食の安全・地産地消課)

### ※1 食育とは

心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

### ※2 地産地消とは

地域で生産された農林水産物をその地域で消費することです。

## <1> 「食育」について関心がありますか。(N=361 選択は1つのみ)

関心がある	46.8%	169名
どちらかといえば関心がある	43.8%	158名
どちらかといえば関心がない	6.9%	25名
関心がない	1.9%	7名
その他	0.6%	2名

[その他]

- ・関心がないわけではないが、一人暮らしのため、つい食事が偏る。
- ・身についているので、特に勉強する必要はない。

## <2> 「食育」に関心がある理由は何ですか

(回答は、<1>で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えた方 N=327

選択は3つまで 回答件数=953)

子どもの心身の健全な発育のために必要だから	66.7%	218名
生活習慣病(がん、糖尿病等)、肥満ややせすぎが問題になっているから	54.7%	179名
食生活の乱れ(栄養バランスの崩れ、不規則な食事等)が問題になっているから	52.6%	172名
食品の安全・安心の確保が重要だから	42.5%	139名
大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから	26.9%	88名
地域の食文化を守ることが重要だから	19.3%	63名
自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れているから	19.0%	62名
有機農業など自然環境と調和した食料生産が重要だから	8.3%	27名
消費者と生産者の間の交流や信頼が足りないと思うから	0.0%	0名
その他	1.5%	5名

[その他（抜粋）]

- ・良い食生活は、健康寿命を延ばす可能性を高くし、医療費増大を抑制できる
- ・水耕栽培の畑を借り、種植えから収穫まで行っている。このような場所がもっと増えれば良い
- ・健康や栄養の情報は、昔とは違っていることが多く、常に新しい知識を学ぶことが必要

< 3 > 「地産地消」について関心がありますか。(N=361 選択は1つのみ)

関心がある	46.5%	168名
どちらかといえば関心がある	42.9%	155名
どちらかといえば関心がない	7.8%	28名
関心がない	2.5%	9名
その他	0.3%	1名

[その他]

- ・新鮮で安ければ、県内産かは問わずに購入

< 4 > 農林水産物を購入する際に価格以外で重視することは何ですか

(N=361 選択は2つまで 回答件数=746)

国産であること	70.9%	256名
新鮮であること	68.4%	247名
安全・安心であること（有機栽培や減農薬・減化学肥料栽培など）	35.2%	127名
地元産、福岡県産であること	23.0%	83名
銘柄（例：「夢つくし」、「はかた一番どり」など）	7.2%	26名
その他	1.9%	7名

[その他（抜粋）]

- ・味、旬、健康に有益かどうか
- ・直売所では、農作物に出荷者名が明示されており、インターネットなどで安心・安全や農業者の取組熱意が分かる

< 5 > 普段の食生活の中で、特にどのようなことに力を入れたいと思いますか

(N=361 選択は3つまで 回答件数=962)

健康に留意した食生活を実践したい	65.9%	238名
食品の安全性について理解したい	65.1%	235名
おいしさや楽しさなど食の豊かさを大切にしたい	41.3%	149名
地元産、福岡県産を購入したい	39.9%	144名
調理方法・保存方法を習得したい	38.5%	139名
生産から消費までのプロセスを理解したい	14.4%	52名
その他	1.4%	5名

[その他（抜粋）]

- ・食料自給率や安全性の観点から、国産を選択（類似意見3件）
- ・自宅で野菜を作り食べていきたい

＜6＞県が実施している食育・地産地消の取組みについて、知っているものを選んでください

(N=361 複数回答 回答件数=498)

いずれも知らない	66.2%	239名
「ふくおか地産地消応援ファミリー」登録制度	20.2%	73名
「ふくおか地産地消応援の店」認定制度	18.0%	65名
食育・地産地消月間（11月）	9.7%	35名
ふくおかエコ農産物	9.7%	35名
「ふくおか農林漁業応援団体」登録制度	6.9%	25名
ホームページ「いただきます！福岡の美味しい幸せ」での情報発信	5.3%	19名
Facebook（フェイスブック）「いただきます！福岡の美味しい幸せ」での情報発信	1.9%	7名

＜7＞食育や地産地消に関する情報をどこで入手していますか

(N=361 選択は2つまで 回答件数=574)

新聞、テレビ、雑誌	61.5%	222名
行政機関（イベントや講座、広報紙、ホームページ、パンフレットなど）	42.1%	152名
インターネット、Facebook（フェイスブック）やTwitter（ツイッター）等のソーシャルメディア	41.3%	149名
学校での教育（小学校、中学校、高校など）	9.4%	34名
その他	4.7%	17名

[その他（抜粋）]

- ・スーパー、農産物直売所、飲食店（類似意見6件）
- ・「ふくおか地産地消応援ファミリー」のイベントやメルマガ（類似意見2件）
- ・マルシェなどで農家から直接
- ・友人知人、信頼している人からの口コミ、料理教室、書籍

＜8＞食育・地産地消の推進について、これまでの設問以外に意見がありますか

(N=361 選択は1つのみ)

特にない	88.4%	319名
ある	11.6%	42名

[ある（抜粋）]

- ・まだ浸透していないので、積極的にPRすべき（類似意見9件）
- ・学校給食は、食育の場として重要（類似意見2件）
- ・地産地消は、輸送コストが少ないメリットがある（類似意見2件）
- ・地元の農産物を手軽に購入できる場（道の駅、直売所、マーケットなど）を拡大（類似意見2件）
- ・全国各地によいものがあり、地産地消にこだわらなくてもよい（類似意見2件）
- ・生産者の高齢化や後継者不足による農産物の生産量確保は、今後の課題である
- ・生産現場の様子を明確にし、選んで購入できるようになるとよい
- ・販売店での収穫地、収穫日等の表示の徹底
- ・食品表示（産地や製造国など）の見方が分からない
- ・公民館を食育活動の場として活用
- ・家庭菜園の推進
- ・様々な家族構成に合わせた食育が必要



# 買って応援！ 食べて応援 ふくおか農林漁業応援団

福岡県産の美味しい農林水産物を愛用して、福岡の農林水産業をもっと応援しよう！という取組です。

## ふくおか地産地消応援ファミリー

県産の農林水産物を積極的に購入して、福岡の農林水産業を応援するご家庭です。応援ファミリーを対象に、野菜・果物の植付けや収穫、椎茸の駒打ち等の林業、酪農、漁業等を実際に体験する「ふくおか農林漁業体験ツアー」を実施しています。

### 《体験ツアー参加者の声》

- ・現地を訪れて、生産者の顔を見ることによって、より農産物への愛着と安心を感じ、地産地消の大切さを実感しました。
- ・田植えをしたことがなかったので、本当にいい体験でした。子どもがごはんを残したときにこの体験のことを話したら、きっと残さなくなるといいます。

登録は  
コチラ！



茶摘み体験



柿の収穫体験



海苔の手すき体験

## ふくおか地産地消応援の店

年間を通じて、県産の農林水産物を使用する飲食店、惣菜店等です。

HPで  
検索！



## ふくおか農林漁業応援団体

県産農林水産物の消費拡大につながる取組や、農山漁村地域での社会貢献活動を実施する企業・団体です。



農林漁業応援団体の表彰



詳しくは

福岡の美味しい幸せ

検索

<http://f-ouen.com>

お問合せ先：福岡県農林水産部食の安全・地産地消課 TEL 092-643-3575